

国立研究開発法人国立がん研究センター

人材交流

- ・ 国立がん研究センター(NCC)からPMDAへの派遣者は計19名、PMDAからNCCへの派遣者は計7名である。
- ・ PMDAへの派遣者は帰任後に、臨床研究支援部門を中心に配属され、全員が医薬品・医療機器等の開発支援に貢献している。
- ・ NCCへの派遣者は臨床現場での経験を踏まえ帰任後に、審査・安全対策等部門の業務に貢献している。
- ・ 病院薬剤部における長期研修及び治験管理部門におけるGCP長期研修への派遣者は、臨床現場での経験を踏まえ研修終了後も引き続き安全対策業務及び信頼性調査に関係する業務に貢献している。

人材育成

- ・ PMDA職員を対象として、NCCでの治験審査委員会等の見学研修が実施された。
- ・ アジアがん臨床試験ネットワーク構築事業(ATLAS)国際シンポジウムをNCCと共催し、PMDA役職員が講演を行った(令和4年度)。

共同事業

- 「安全対策業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」及び「信頼性調査に係る業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」に基づき、薬剤部における長期研修及び治験管理部門におけるGCP長期研修を実施した。
- 希少がんの臨床開発の環境整備等に関する連携・協力の一環として、NCCが実施する研究事業である「MASTER KEY Project」に関するNCC-PMDA連絡会を設置し、情報共有や意見交換を行った。
- PMDAアジアトレーニングセンターのセミナーにおいて、NCC職員が講演を行った。

令和6年度末現在